



平成 30 年 12 月 20 日

平成 30 年度第 5 回「海外物流戦略ワーキングチーム会合」を開催

(一社) 日本物流団体連合会 (会長: 田村修二) は、12 月 18 日 (火)、物流事業の海外進出に関する課題について、官民連携して検討する今年度第五回目となる「海外物流戦略ワーキングチーム会合」を、千代田区霞が関の尚友会館ビルで開催した。会合には、国土交通省の伊藤国際物流課長を始めとする幹部や、会員企業から 28 人が参加した。

会合では、まず、国土交通省総合政策局 伊藤国際物流課長より、最近の国土交通省の国際物流政策の取組について、シベリア鉄道パイロット輸送プロジェクトの状況、及び ASEAN における外資規制の撤廃・緩和に向けた取組の状況、並びに小口保冷輸送国際規格の普及に関する最近の取組の状況等の説明が行われた。続いて、同局 人見物流渉外官より、11 月に実施されたインド政府機関、経済団体及び現地物流事業者を訪問しての意見交換、並びにデリー視察調査の内容説明がなされた。インドについては、現在の市場規模だけでなく将来の市場としての成長性も見据え、我が国物流事業者が進出・操業しやすい環境の整備に現時点から取り組むとの方向性が示された。

次に、今年度の物流事情実態調査団メンバーにより、11 月に実施されたインド物流事情実態調査について、調査員の所感を含めた中間報告が行われた。現在、内容を取り纏めている段階であり、来年 3 月の報告書発刊を目指している。

最後に、事務局より、今月 4 日から 6 日にかけて英国・ロンドンで開催された小口保冷輸送にかかる国際規格開発について議論する会議についての参加報告が行われた。

本ワーキングチームの活動は、今年度も物流連の重要な業務と位置づけ、適宜、現地情報や実務に詳しい会員企業や外部専門家の参加を得ながら進めることとし、次回は、来年 2 月上旬の開催を予定している。

以上
事務局 中川

会合全景



説明する国土交通省 伊藤博信国際物流課長

